

■お鯉(安藤照) 芸妓。美貌で売れっ妓になり、落籍した桂太郎没後も、後援多数で、カフェを経営し、羅漢寺を再興。

おこい

・・・・・・・・1880＝ 東京四谷見附で、漆問屋(松屋)小久江鉄次の娘に生まれる。母はふく。

明治14年政変1881＝ 1歳：

岩倉具視没・1883＝ 3歳：松屋が倒産して、裏長屋暮らしとなる。

内閣発足・・・1885＝ 5歳：新宿の引手茶屋の主人安藤兼作の養女となり、名が安藤照に変わった。

帝国憲法発布1889＝ 9歳：

引手茶屋が不振となり一家は浜町の待合弥生に転がりこんだ。“目千両”といわれるほど美しい娘に育ったお鯉を、弥生の勘兵衛夫妻が養女に欲しがった。兼作は堅気の男と結婚させたいと望んでいたの、勘兵衛との間がまずくなった。そんな養父母の苦しみを見たお鯉は芸妓になろうと言いだし、

郡司千島探検1893＝13歳：新橋の金春新道の芸妓屋近江屋の世話になる。

日清戦争始・1894＝14歳：

日清戦争終・1895＝15歳：*福地桜痴らの後援を得て、一本立の芸妓となる。たちまち若さと美貌は評判となり売れっ妓になり、

政党内閣初・1898＝18歳：

Bushidou・・・1899＝19歳：_のちに市村羽左衛門を襲名する市村家橘に望まれて結婚したが、
_失敗に終わり、芸妓に戻った後も、

_その姿が絵葉書に描かれる程の人気で、”照近江のお鯉”として有名な存在となり、

日露戦争始・1904＝24歳：_日露開戦間際に、元老山県有朋の配慮で、首相桂太郎に落籍される。首相官邸内にも”お鯉の間”がつくられるほどで、病弱な本妻に代わって、桂の身辺世話し、政府要人らの苦勞する様も目の当たりにする。

日露戦争終・1905＝25歳：_日比谷公園焼打事件の際には、首相官邸も取り囲まれ、”国賊桂の愛人”として身の危険が及ぶも、死装束に短刀忍ばせ、毅然として耐えぬく。

韓国反日暴動1907＝27歳：

明治天皇没・1912＝32歳：

大正政変・・・1913＝33歳：*桂が死去すると、その後の行動を規制しようとする政府の要求を蹴り、また後援する知人たちがいて、銀座にカフェ・ナショナルという店を出し、

民本主義・・・1916＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝41歳：

_店は客で賑いを見せたが、

治安維持法・1925＝45歳：

満州事変・・・1931＝51歳：

_勝気な性格が警察とトラブル起こし、

帝人疑獄事件1934＝54歳：*帝人疑獄事件に巻き込まれ、偽証罪で懲役10か月、執行猶予3年の刑を言い渡される。世間の冷たい嘲笑悪罵のなか、身元引受人となった頭山満に勧められ、仏に帰依し、

日中戦争始・1937＝57歳：

健保+総動員 1938＝58歳：_目黒の羅漢寺へ入る。羅漢寺は鉄眼禅師開山の由緒ある寺であるが、当時は荒廃していた。お鯉は妙照尼と改め、寺の修復再興に尽しながら、

羅漢寺には、_政官界や財界人の出入りが絶えず、

日米開戦・・・1941＝61歳：

創価学会検挙1943＝63歳：

敗戦・・・・・・・・1945＝65歳：

_あたもサロンの主のような存在として過ごし、

極東裁判決・1948＝68歳：羅漢寺の庵室で、_没した。